

不登校、いじめ防止へ県教委

小5～中3に意識調査

池田中2自殺踏まえ本年度3回

池田町池田中で昨年3月に当時2年の男子生徒が自殺した問題を踏まえ、県教委は本年度、県内公立校の小学5年生から中学3年生全員を対象にした初の意識調査を行う。

「学校が楽しい」「授業がよく分かる」など4項目を3回アンケートし、いじめや不登校の防止につなげる。13日の県教育委員会で報告した。

県義務教育課によると▽学校が楽しい▽みんなと何かをするのは楽しい▽授業に主体的に取り組んでいる▽授業がよく分かるの4項目を「当てはまる」から「当てはまらない」まで4段階で無記名で

尋ねる。7月、12月、来年3月に行い、各学校の授業や行事の点検、見直しに役立てる。

また、2010年に策定した不登校対策の指針を初めて見直す方針も示した。いじめや不登校のない学級運営の指導書も改める。教員の心構えや役割、子どもの特性や個性に応じた対応を明確に示す。ともに公立小中学校の全教員に配る。(小林真也)